

2008-09年度

RI 会長 李 東建
第 2590 地区ガバナー
清水 良夫

Make Dreams Real



第 2 号

編集発行

第 2590 地区

R 情報・広報・IT 委員会

e-mail newsletter@rid2590-it.org

「2007年手続要覧

RC 定款・推奨 RC 細則主な変更部分について」

パストガバナー 藤林豊明

手続要覧は 3 年に 1 度開催されます規定審議会の決定を受けて改定。今回は 2007 年 4 月にシカゴで開催、審議した立法案は全部で 337 件。

立法案は制定案と決議案に分類され、制定案は組織規定を改正する提案で、決議案は組織規定の改正を求めない提案。

今回の一番の変更点は、「標準ロータリークラブ定款に『四大奉仕部門』を含める件」(制定案 07-29) が RI 理事会及びアメリカ・イリノイ州・スプリングフィールド RC から提案され、423 : 43 と大差で採択。

● 標準ロータリークラブ定款第 5 条四大奉仕部門 (手続要覧 242 頁)

本文、ここでは四大奉仕がクラブ活動の理念と実践の両面があることをはっきりさせています。そして細則では、理念と実践の枠組みであり、積極的に取り組むとあります。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕、

ここではクラブ奉仕の目的を、クラブの機能を充実する為にクラブ内で会員が取るべき行動であると規定しています。

2. 奉仕の第二部門である職業奉仕、

ここでは綱領の職業奉仕の目的が提示され、さらに世界的に企業の不祥事が多発しているためか、自分自身を律するという表現が使用されたことで、1989 年のロータリアンの職業宣言が彷彿とされます。又会員の責務には言及しているがクラブの責務には記載がなく、この点にも大きな変化を感じ取られます。

3. 奉仕の第三奉仕部門である社会奉仕、

これは綱領より踏み込んだ表現で、敢えてクラブの所在地域や行政区域などの近隣のニーズを把握し、効果的に実践し、そして時には RAC や IAC などのロータリー家族も巻き込んだ活動を示唆しています。

4. 奉仕の第四奉仕部門である国際奉仕、

ここでは綱領の定義よりかなり広範囲に奉仕の具体的実践を想定したものとされます。ここでも変化を感じ取られます。

2005 年に CLP に基づいて提示された推奨クラブ細則が四大奉仕を大変軽視したような表現であり、批判が強かった。今回改めて定款に記載されたことは大変意義深い。

次に採択制定案 07-14「ロータリー年度の各半期ごとに、例会の 50 パーセントに出席するよう会員に義務づける件」(米国カリフォルニア州サンジョセサンライズ RC 提案)

● 標準ロータリークラブ定款第 12 条 会員身分の存続 第 4 節—終結—欠席(a)(1)

以前は 60 パーセント。

採択制定案 07-334「欠席を理由として会員身分を終結することに関する規定を改正する件」

● 同じ 12 条第 4 節(a)(2)に括弧が追加。(RI 理事会によって定義されたガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする)

その他、否決されたが興味ある立法案をご紹介します。

制定案 07-20「メイクアップの期間を 14 日間から 7 日間以内にする件」

制定案 07-22「30 分間参加型のウェブサイト活動をすれば出席と認められる規定の削除の件」

決議案 07-89 当 2590 地区の横浜東 RC 提案の「ローターアクトの年齢制限 30 歳を 35 歳に引き上げることを検討するよう RI 理事会に提案する件」第 1820 地区 (ドイツ)、第 1910 地区 (スロベニア共和国) との共同提案で、結果 399 : 103 で Rejected 否決。寧ろ他の国では年齢を引き下げたいという要望が多い。

因みに、定款の 247 頁の第 11 条入会金および会費、また手続要覧の 12 頁、若年層の会員の項目の中 (ロータリー章典 5.040.2) を参照。

最後に地区委員会組織とクラブ委員会組織について。

新たな推奨細則は、従来の四大奉仕に基づく委員会構成に変わり、奉仕活動の実践に重点を置いた新たな委員会構成を提示。(手続要覧 257 頁参照)

さて、ではどうするのか？ CLP については各クラブが採用するか、しないかを先ず決めます。採用する場合、委員会の合理化をよく検討します。本当に必要の無いのか、統合してよいのかで判断します。要はクラブの実情に合わせて組織を組み立てて下さい。

例えば、まずクラブ内活動委員会とクラブ対外奉仕活動委員会の 2 つに大きく分類。クラブ内活動委員会は即ちクラブ奉仕委員会であり、これをクラブ管理と会員委員会に分類。クラブ管理委員会では、親睦、プログラム、会報、出席、雑誌等の委員会の任務。会員委員会では、増強、選考、職業分類、ロータリー情報などの委員会の任務。

クラブ対外奉仕活動委員会は、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、ロータリー財団と米山奨学の委員会を受け持つ。

そして常任委員会は、執行部とクラブ奉仕担当、対外奉仕活動担当として、クラブ管理、会員、職業、社会、国際、財団（米山含む）を小委員会にする。

委員はクラブ管理委員会で一グループ、会員委員会で一グループ、対外奉仕活動委員会で一グループとして構成し、共同で活動を行うと少人数のクラブでも対応可。

RI の推奨細則とは組織が違いますが考え方は同じ。例えば、奉仕プロジェクトの委員会には職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の担当責任者が包括され、活動が必要な時は担当責任者の指示でその委員会のメンバーは活動することになる。地区の委員長会議の時は、奉仕プロジェクト委員会の中の担当責任者が出席することになる。

少し忙しいかもしれませんが、その分得られるものも大きくなります。

だって私達はロータリアンです。

He profits most who serves best

ご清聴ありがとうございました。

(7月15日開催 R 情報・広報・IT セミナーにて)

海外在住米山学友の里帰り 第 2590 地区ホームカミング制度第 1 号に 張蕾女史決定

神奈川東 RC 永井 隆俊

本年度より始まった「米山奨学事業の意義を広報するため」の海外で活躍する学友を日本に招待する学友里帰りに、中国の張蕾女史（世話クラブ神奈川東 RC）が決まりました。張女史は、鶴見大学大学院で「芥川龍之介と中国」の博士論文で、文学博士号を取得し、中国に帰国し、現在大連海事大学で日本語学部副主任として活躍しております。

11 月 4 日に来日し 10 日までの 7 日間滞在し、11 月 8 日の地区大会にも参加します。その間米山奨学事業の理解を深めるため、クラブ訪問卓話も予定しております。時間的な制約もありますが、卓話など希望のクラブは、地区米山奨学委員会にお問い合わせ下さい。

掲 示 板

投稿のお願い

－原稿募集－

奉仕活動、親睦活動などの報告、協力依頼など。また、卓話やイベント情報などの投稿をお待ちしております。GSE、インターアクト、ローターアクト、ROTEX、各奨学生や学友の皆様など、ロータリーに関するすべてのことが対象です。

投稿締切日： 毎月 20 日

文字数： 400 字程度

写真： デジタル画像のみの受付となります。1MB 程度までとしてください。

投稿方法： クラブ会長・幹事・IT 担当者連名にて、地区 R 情報・広報・IT 委員会宛に e-mail にてご送付下さい。

投稿先： newsletter@rid2590-it.org

編集後記

7 月下旬に、ホームクラブで推薦させていただいた青少年交換学生を迎えに成田まで行ってまいりました。



一年前に見送った時とすっかりかわり、大きく成長しての帰国です。感慨深いものです。

地区 R 情報・広報・IT 委員会

副委員長 益田聡一郎

委員 羽田久美夫